

研究レポート No.603



キュウリ黒星病防除薬剤の評価

【1 成果の要約】

- (1) チオファネートメチル剤（トップジン M 水和剤）に耐性を示すキュウリ黒星病菌が、県内主要産地で確認されました。本病防除には、本剤以外の薬剤を選択してください。
- (2) 各種薬剤のキュウリ黒星病に対する防除効果は表 1 の通りです。防除計画立案時の参考にしてください。ただし、発病確認後の散布では防除効果が劣りますので、予防散布を基本とした防除を心がけてください。

【2 成果の内容】

表 1 各種薬剤のキュウリ黒星病に対する防除効果

薬剤名	(商品名)	希釈倍数	評価	H23防除指針での記載	備考
ジフェノコナゾール水和剤	(スコア顆粒水和剤)	2000倍	A	()	DMI剤
アゾキシストロピン水和剤	(アミスター20フロアブル)	2000倍	A	()	ストロビルリン系
マンゼブ水和剤	(ジマンダイセン水和剤)	600倍	A		
ポリカーバメート水和剤	(ビスダイセン水和剤)	600倍	A		
(参考)テトラコナゾール水和剤	(サルバトーレME)	3000倍	A		使用不可(H19作物登録削除)
TPN水和剤	(ダコニール1000)	1000倍	B		
塩基性塩化銅 ・カスガマイシン塩酸塩水和剤	(カップパーシン水和剤)	1000倍	B	()	
ジチアノン・銅水和剤	(デランK)	500倍	B		
ボスカリド水和剤	(カンタスドライブフロアブル)	1500倍	B	()	
トリフルミゾール水和剤	(トリフミン水和剤)	3000倍	B	()	DMI剤
(参考)トリアジン水和剤	(トリアジン水和剤50)	600倍	B		使用不可(H18農薬登録失効)
イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤	(ベルコートフロアブル)	2000倍	C		
硫黄水和剤	(イオウフロアブル)	500倍	C		防除指針未掲載
ベンチオピラド水和剤	(アフエットフロアブル)	2000倍	C		防除指針未掲載
炭酸水素カリウム水和剤	(カリグリーン)	800倍	D		
マイクロブタニル水和剤	(ラリー水和剤)	8000倍	D		DMI剤
トリアジメホン水和剤	(パイレトン水和剤5)	3000倍	D		DMI剤
キノキサリン水和剤	(モレスタン水和剤)	3000倍	D		
トルフェンピラド乳剤	(ハチハチ乳剤)	1000倍	D	(×)	
チオファネートメチル水和剤	(トップジンM水和剤)	1500倍	D	×	耐性菌のため効果低い
ジエトフェンカルブ ・チオファネートメチル水和剤	(ゲッター水和剤)	1500倍	D	(×)	

防除効果の評価 A:優れる B:有効 C:劣る D:無効

():作物登録はあるが、黒星病には適用がない。

【3 留意事項】

- (1) 農薬選択の際には平成 23 年度病害虫防除指針を参考にしてください。また、使用前に必ずラベルを確認し、使用基準を遵守してください。
- (2) 黒星病が定植直後から発生し、主枝の芯止まりが発生する地域では、マンゼブ水和剤、ポリカーバメート水和剤、TPN 水和剤、ジチアノン・銅水和剤等の本病に対する効果が ~ の薬剤を有効に使用してください。防除計画を立案する際は、斑点細菌病やべと病との同時防除の必要性を考慮して薬剤を選択してください。
- (3) 本病害の防除は予防散布を基本としてください。また、耐性菌発生リスクが高いジフェノコナゾール水和剤（DMI 剤）、アゾキシストロピン水和剤（ストロビルリン系）は連用とならないように注意してください。